

奥会津7町村

2024 秋号



一緒に藍染め体験してみませんか？奥会津博物館でお待ちしています

特集

「芸術の秋」に行きたい!!

奥会津のミュージアム!



Introduction

過ごしやすい気候で物事にじっくり取り組める秋は、奥会津地域の文化にじっくり触れられる博物館・美術館めぐりに出かけましょう。奥会津の新たな魅力に出会える予感♪

特集

「芸術の秋」
に行きたい!

奥会津のミュージアム

芸術の秋！勉学の秋がやってきた！
今秋、ぜひ注目していただきたい
7つの文化施設をご紹介します。

民具と藍染めで楽しく学ぶ！
博物館は驚きと発見の宝庫



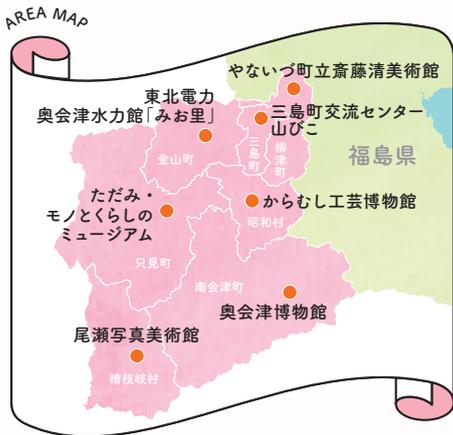
私がご紹介
します!

奥会津博物館 学芸員
渡邊 貴恵さん



奥会津博物館では、地域の人々が知恵や工夫を凝らして生み出し、長年使い続けてきた道具「民具」を、約2万4千点収蔵しています。その多くは町民の皆さんから寄贈していただいたものです。民具の使い方や特徴を知れば、気候風土や暮らしぶりなど地域の特徴が見えてくるため、貴重な文化遺産となっています。たとえば、積雪の多い南郷地区では雪の上を歩く「かんじき」が多用されましたが、比較的雪の少ない田島地区では雪を踏み固める「踏み俵」という民具が利用されていました。こうした背景や文化の違いを知り、「面白いね」とお客さまに興味を持っていただけた時は本当にうれしく思います。

また、毎年7月に開催される会津田島祇園祭などで藍染めの袴(かみしも)を着る需要があったため、田島地区では藍染めの技術が受け継がれてきました。この文化を後世に残そうと、江戸時代から使われてきた染屋(ぞめや)を当館に移築し、藍染め体験を実施しています。歴史ある空間であなたも伝統の技術に触れてみませんか？



01 藍染め体験もできる！ 奥会津博物館

南会津町

失われつつある奥会津地域の伝統文化を保存・伝承するため、1994年に開館した町営の博物館です。民具や歴史資料の展示館・収蔵庫を擁するほか、敷地内には4棟の茅葺き屋根の民家を移築復元しています。

開 9:00~16:00
入館料：大人300円、高校生200円、小中学生100円
藍染め体験(5月~10月中旬に実施、要予約)ハンカチ1,200円から
※ 12月~3月の木曜、12月28日~1月4日
〒福島県南会津郡南会津町糸沢字西沢山3692-20
TEL 0241-66-3077



奥会津博物館の
詳細はこちら



歳時記の郷奥会津
YouTube

読者プレゼント

田島藍染保存会

抽選で
3名様に

あいぞ
藍染め手ぬぐい (1枚)



はがきに右記の項目を記入してポストに投函するか(締切日の当日消印有効)、スマホで右下のコードを読み込んで応募フォームからご応募ください。

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。個人情報のはプレゼントの発送にのみ使用いたします。

応募締切 12月2日(月)

〒968-0006

福島県大沼郡金山町
中川字上居平933
奥会津振興センター内

「つなぐ奥会津2024
秋号」プレゼント係

- 1 本誌の入手場所
- 2 興味を持った記事
- 3 本誌へのご意見・ご感想
- 4 郵便番号・住所
- 5 氏名
年齢
電話番号

応募フォーム



02 四季めぐる尾瀬の魅力を表示
尾瀬写真美術館

檜枝岐村



4×5インチの大判カメラで、愛する尾瀬のさまざまな表情を撮り続けた山梨県出身の山岳写真家、故・白籟史朗氏の作品を所蔵しています。1階の吹き抜けには、三条ノ滝の大写真が一面に飾られており、雄大さと美しさを存分に味わうことができます。



〒福島県南会津郡檜枝岐村字左通124-6 ミニ尾瀬公園内
TEL 0241-75-2065
観覧無料
月曜休館、11月中旬～4月中旬は冬季休業

03 国指定民具収蔵庫を見学できる！
ただみ・モノとくらしのミュージアム

只見町



一般的には専門家が行う民具の整理・記録を町民の手で行い、「民具の聖地」とも称される只見町。国の重要有形民俗文化財に指定された民具のコレクション 2,333 点をはじめ、窪田遺跡の出土品、只見町出身の文学者・書家にまつわる資料などを収蔵しています。



〒福島県南会津郡只見町大倉字窪田30
TEL 0241-86-2175
観覧無料
月曜休館(祝日の場合は開館して翌平日休み)

04 会津を愛した斎藤清の世界へ
やないづ町立斎藤清美術館

柳津町



会津坂下町で生まれ、晩年を柳津町で過ごした世界的版画家・斎藤清の作品や関連資料を収蔵・展示する国内唯一の美術館。ライフワークとして描き続けた代表作「会津の冬」シリーズなど、今も多くの人に愛される斎藤清の世界を堪能することができます。



〒福島県河沼郡柳津町柳津字下平乙187
TEL 0241-42-3630
観覧料：大人510円、高校生・大学生300円
月曜休館(祝日の場合は開館して翌平日休み)
※9/9～9/13は展示替えのため休館

05 町の文化・歴史に触れる
三島町交流センター 山びこ

三島町



三島町内外の交流や地域活性化を目的とした文化施設。縄文遺跡の出土品をエントランスに常時展示しているほか、歴史・芸術文化に関する企画展やイベントを随時開催しています。11月末から2025年2月24日までは町のフォトコンテストの全応募作品を展示予定です。



〒福島県大沼郡三島町名入字諏訪ノ上418
TEL 0241-52-2165
観覧無料(令和6年度の企画展等に関して)
月曜休館(祝日の場合は開館して翌平日休み)

06 只見川の眺めも楽しめる！
東北電力 奥会津水力館「みお里」

金山町



豊かな水資源を持つ奥会津地域では戦後、只見川沿いで大規模な電源開発が行われてきました。そうした水力発電の特徴や歴史的意義、奥会津の魅力を、プロジェクトンマッピングのジオラマや、アート、映像などを取り入れた展示で分かりやすく紹介しています。



〒福島県大沼郡金山町中川字上居平933
TEL 0241-42-7771
観覧無料
月曜休館(祝日の場合は開館して翌平日休み)

07 「からむし」の歴史をつたえる
からむし工芸博物館

昭和村



「道の駅からむし織の里しょうわ」にある博物館。国の伝統的工芸品『奥会津昭和からむし織』の原料となる植物「からむし」を中心に、栽培に関する歴史資料や、植物繊維から糸を作る工程・生産道具などの説明、織物などを展示し、人々の知恵を後世に伝えています。



〒福島県大沼郡昭和村佐倉字ノ原1
TEL 0241-58-1677
観覧料：高校生以上300円、小中学生150円
不定休

奥会津7町村文化施設間連携企画展「奥会津の冬」
2024年7月20日(土)～9月・11月 ※終了日は会場ごとに異なります

日本有数の豪雪地帯としても知られる奥会津の自然と、そこに生きる人々や文化からなる「冬のいとなみ」の豊かさを伝える展示や関連企画を、上記7施設で実施しています。



詳しくはこちら

実施期間

- 9月29日(日)まで ■三島町交流センター 山びこ(三島町)
■東北電力 奥会津水力館「みお里」(金山町)
- 11月 4日(月)まで ■尾瀬写真美術館(檜枝岐村)
- 11月10日(日)まで ■ただみ・モノとくらしのミュージアム(只見町)
■やないづ町立斎藤清美術館(柳津町)
■からむし工芸博物館(昭和村)
- 11月24日(日)まで ■奥会津博物館(南会津町)

奥会津博物館
での展示



ただでん 通信

只見川電源流域振興協議会（通称：ただでん）では、奥会津の魅力に触れることができる、さまざまな事業を実施しています。主催・共催事業の最新情報はホームページで随時公開しています。ぜひご参加ください。



奥会津カーシェアリング

2024年6月8日(土)～12月8日(日)

※降雪状況によって実証期間を変更する場合があります。

只見線の駅からの周遊観光などに便利なカーシェアリングを利用してみませんか？奥会津地域の6カ所にカーシェア車両を配備しており、スマホのアプリで車の予約や解錠・施錠を行うことができます。



奥会津の産品が当たるアンケートも実施！



詳しくはコチラ▶

奥会津の秋イベント

掲載の情報は2024年8月時点のものです。変更となる場合がございますので、お出かけの際はお問い合わせ先にご確認ください。

昭和村 麺&食めぐりキャンペーン 第2期

とき 9月1日(日)～12月28日(土)

ところ 村内の飲食店8軒

園 昭和村観光協会
TEL 0241-57-3700

南会津町 古町のまつり

とき 9月14日(土)・15日(日)

ところ 南会津町古町地区

園 南会津町観光物産協会 伊南支部
TEL 0241-64-5711

只見町 ビーチバレーボール大会

とき 9月21日(土)・22日(日)

ところ 只見町多目的活性化広場
ビーチバレーコート

園 只見町教育委員会
TEL 0241-82-5320

檜枝岐村 第11回 山人秋まつり

とき 9月21日(土)～10月6日(日)

ところ 村内の宿泊施設・食堂・
みやげ物店・温泉施設

園 尾瀬檜枝岐温泉観光協会
TEL 0241-75-2432

三島町 スターウォッチングツアー2024
～ミサカノヨゾラ～

とき 9月28日(土)

ところ 美坂高原

園 三島町役場 地域政策課
TEL 0241-48-5533

只見町 自然首都只見
水の郷うまいもんまつり

とき 9月28日(土)・29日(日)

ところ 只見線広場

園 只見町商工会
TEL 0241-82-2380

三島町 第20回 会津の編み組工芸品展

とき 10月12日(土)・13日(日)

ところ 三島町交流センター 山びこ

園 三島町生活工芸館
TEL 0241-48-5502

南会津町 南会津新そばまつり

とき 10月13日(日)・14日(月祝)

ところ 御蔵入交流館

園 南会津町観光物産協会
TEL 0241-62-3000

金山町 奥会津ごっつおまつり

とき 10月19日(土)・20日(日)

ところ 金山町老人福祉センター
「ゆうゆう館」周辺

園 金山町役場 商工観光課
TEL 0241-54-5327

檜枝岐村 第11回 山人新そばまつり

とき 10月19日(土)～11月4日(月休)

ところ 村内の宿泊施設・食堂・
みやげ物店・温泉施設

園 尾瀬檜枝岐温泉観光協会
TEL 0241-75-2432

南会津町 伊南川あゆまつり

とき 10月20日(日)

ところ 伊南会館前

園 南会津町観光物産協会 伊南支部
TEL 0241-64-5711

只見町 只見町ウォーク・只見米フェス2024

とき 10月26日(土) ※申込〆切 10月19日(土)

ところ 只見線広場

園 只見町役場 交流推進課
TEL 0241-82-5240



自然の中に
暮らすいとなみ、
100年先のみらいへ。



歳時記の郷
奥会津 WEB



Instagram



只見川電源流域振興協議会

〒968-0006

福島県大沼郡金山町大字中川字上居平933番地

東北電力奥会津水力館「みお里」奥会津振興センター内

TEL 0241-42-7125 FAX 0241-42-7127

Eメール tdrsk@okuaizu.net

※本誌は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。

奥会津とは？

福島県の奥の奥——。深い山々と美しい川に囲まれた会津地方の南部に位置する7町村は、「奥会津」と呼ばれています。冬はたくさん雪が降り積もる豪雪地帯であり、各地域には奥会津の風土に育まれた豊かな文化が継承されています。